

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔保健体育〕 種目〔保健体育〕

12 教科 [保健体育] 種目 [保健体育]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書(教科 [保健体育] 種目 [保健体育])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(4者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- 「平成30年7月豪雨」をはじめとした、自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域であること
- 体力の実態として、筋力、全身持久力に課題が見られること
- 習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えようとするのが課題であること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「運動や健康・安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫」
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫」
- 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

(1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「運動や健康・安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「キーワードの解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確認の問題」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「ポイントマーク」を付している。また、「読み物」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の章末資料で、体力の要素を体力を高める運動例と、行う目安との関係で示している。
------	---

大 日 本 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右下に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、星印と数字のルビを振り、本文下にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「学習のまとめ」で、学習内容を整理して示している。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されている。また、「トピックス」、「ミニ知識」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の章末資料で、体力の要素を中学校で学ぶ運動との関係で示している。
大 修 館 書 店	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「用語の解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、本文近くにその説明を掲載している。 ○ 各章末の「章のまとめ」で、知識・技能の習得を確認する「知識・技能の確認問題」を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。また、「コラム」、「事例」、「ほり下げる」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。
学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、四角番号のルビを振り、各ページ右側にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確かめよう」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されている。また、「コラム」、「情報サブリ」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 巻末資料で体力の測定とその活用例を示している。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、本文、「発問」、「活用する」、「広げる」として、見通しを持たせるよう示している。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を12ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「学習のねらい」、「つかもう」、本文、「(やってみよう)」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「活用して深めよう」として、見通しを持たせるよう示している。
大修館書店	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「きょうの学習」、「課題をつかむ(意見を出そう)」、「(やってみよう)」、「振り返ろう」、「考えよう」、「話しあおう」、本文、「学習のまとめ(確認しよう)」、「発表しよう」、「生かそう」、「話しあおう」として、見通しを持たせるよう示している。 ○ 各章末の「章のまとめ」に、学習を振り返って自己評価をするための「学習の振り返り」を設けている。
学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を10ページにわたり掲載している。 ○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。 ○ 学習の流れを「学習の目標」、「課題をつかむ」、本文、「考える・調べる」、「まとめる・深める」として、見通しを持たせるよう示している。 ○ 各章末の「章のまとめ」に、学習した内容を振り返り、自己評価をするための「振り返ろう」を設けている。

(3) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の「広げる」で、学習したことを自分の生活に当てはめて考えたり、さらに調べたりする活動を示している。 ○ 各章末に、習得した知識や技能を活用して考える「活用の問題」を設けるとともに、日常生活に生かしたいことを記述するための「日常生活に生かそう」を設けている。 ○ 「心肺蘇生の方法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を7箇所示している。 ○ 小単元「自然災害による危険」、「自然災害による傷害の防止」、発展「共に生きる」、章末資料で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、警戒レベル、避難所生活、地域安全マップの作成などを取り上げている。
大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の「活用して深めよう」で、学習したことを活用することで、学びを深め、今後の生活につなげていく活動を示している。 ○ 各章末に、学習したことを日常生活で活用するための問いと記述欄「学びを活かそう」を設けている。 ○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を15箇所示している。 ○ 小単元「自然災害による傷害の防止」、資料、章末資料「学びを活かそう」で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、日頃から備えておくこと、避難所のできることを考えようなどを取り上げている。
大修館書店	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の「学習のまとめ」で、学習内容を確認したり、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けたり、日常生活に生かすことができるような活動を示している。 ○ 各章末に、習得した知識や技能を活用して考える「思考・判断・表現の問題」を設けるとともに、学んだことをもとにして自分の課題を見つけて記述する「学びに向かって」を設けている。また、学習した知識を実生活に生かして考える課題として、「体育の窓」を1箇所、「保健の窓」を6箇所に示している。 ○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を10箇所示している。 ○ 小単元「自然災害によるけがの防止」、特集資料で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、災害から命を守る行動などを取り上げている。 ○ 小単元「災害と環境」で、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について示すとともに、災害による衛生環境の悪化や災害に関する情報の活用法などを取り上げている。

学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の「まとめる・深める」で、学習のまとめとして目標を立てたり、人に伝えたり、さらに考えたりするなどして深め、実生活につなげることができる活動を示している。 ○ 各章末に、習得した知識を活用して考える問い「生かそう」を設けるとともに、日常生活に生かしたいことを記述するための「生活への活用」を設けている。また、興味や関心などに応じて学習するための「もっと広げる深める」を5箇所を示している。 ○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を9箇所示している。 ○ 小単元「自然災害に備えて」、特設ページ「もっと広げる深める」、特設ページ「探究しようよ！」で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、自然災害発生時の避難行動などを取り上げている。
---------------------------------	---

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫」

東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学習方法」で、「事例などを用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「活用する」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
大 日 本 図 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ロールプレイング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。
大 修 館 書 店	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ディスカッション」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「課題をつかむ（意見を出そう）、（やってみよう）、（振り返ろう）、（考えよう）、（話しあおう）」、「学習のまとめ（確認しよう）、（発表しよう）、（生かそう）、（話しあおう）」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「特集資料」で、自身の経験等を基に話し合いを行ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。

学 研 教 育 み ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「さまざまな学習方法」で、「事例を用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「考える・調べる」、「まとめる・深める」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ!」で、自身の経験等を基に話し合いを行ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。
---------------------------------	--

3 意見

(1) 大修館書店の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、各小単元に学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。
- 視点①の工夫として、「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。
- 視点③の工夫として、各章末の「章のまとめ」に、学習を振り返って自己評価をするための「学習の振り返り」を設けている。
- 視点④の工夫として、学習した知識を実生活に生かして考える課題として、「体育の窓」を1箇所、「保健の窓」を6箇所に示している。
- 視点④の工夫として、小単元「自然災害によるけがの防止」、特集資料で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、災害から命を守る行動などを取り上げている。
- 視点④の工夫として、小単元「災害と環境」で、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について示すとともに、災害による衛生環境の悪化や災害に関する情報の活用法などを取り上げている。
- 視点⑧の工夫として、特設ページ「特集資料」で、自身の経験等を基に話し合いを行ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。

以上のとおり、大修館書店の教科書は、1(1)に記した、本市の「災害への知識と備えが必要な地域である」という実態や、生徒の「筋力、全身持久力に課題が見られること」、「習得した知識や技能を活用して課題解決する」、「学習したことを相手に分かりやすく伝えようとする」が課題であるという状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、保健体育科で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 学研教育みらいの教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、巻末資料で体力の測定とその活用例を示している。
- 視点③の工夫として、各章末の「章のまとめ」に、学習した内容を振り返り、自己評価をするための「振り返ろう」を示している。
- 視点④の工夫として、興味や関心などに応じて学習するための「もっと広げる深める」を5箇所を示している。
- 視点④の工夫として、小单元「自然災害に備えて」、特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ!」で、自然災害による傷害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、自然災害発生時の避難行動などを取り上げている。
- 視点⑧の工夫として、特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ!」で、自身の経験等を基に話し合いを行ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。

以上のとおり、学研教育みらいの教科書は、1(1)に記した、本市の「災害への知識と備えが必要な地域である」という実態や、生徒の「筋力、全身持久力に課題が見られること」、「習得した知識や技能を活用して課題解決する」、「学習したことを相手に分かりやすく伝えようとする」が課題であるという状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、保健体育科で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

13 教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書（教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]）」（以下、「報告書」という。）並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者（3者）の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- 生徒は、世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習への関心は高いが、年々、ものづくり体験は少なくなり、また、生活体験は個人差が大きくなっていること
- 技術と生活や社会、環境との関係について理解し、知的財産を尊重しながら創意・工夫する力に課題があること
- 技術と生活や社会、環境との関係について理解し、問題解決学習を行う力に課題があること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「学習過程の工夫」
- 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑤「題材や資料等の配列・分量」
- 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑥「実践的・体験的な学習に関する内容」

2 各発行者の特徴（抜粋）

(1) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「技術の天秤」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。 ○ 学習内容と関わりのある話題を「技術の匠」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。 ○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「構想図」、「部品表」、「製作の手順」、「私の工夫」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。 <p>【リモコンラックの例】</p> <p><問題の発見> 部屋の中でリモコンを紛失してしまう。</p> <p><課題の設定> リモコンを立てかけて置いておくラックによって、決められた場所に収納できるようにする。</p>
------	---

<p>教 育 図 書</p>	<p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技ビット」、「センパイに聞いてみよう」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想を考える」、「構想を具体化する」、「設計をまとめる」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【ショベルカーのモデルの例】</p> <p>＜問題を発見する＞ 効率よくものを拾って運ぶためには、どのような装置にするとよいか。</p> <p>＜目的や条件をもとに構想を考える＞ 今回は、コントローラを使ってロボットを動かそう。また、4速ギヤボックスを使った構想を考えてみよう。</p>
<p>開 隆 堂 出 版</p>	<p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「トレードオフ」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「探究」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」、「構想図」、「部品表」、「さまざまな課題解決の方法例」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。また、「問題の発見」に「社会とのつながり」を併せて示すことで、生徒が自らの問題を発見する際の、社会とのつながりの考え方を例示している。</p> <p>【安全性を重視したふみ台の例】</p> <p>＜問題の発見＞ 幼児家族は洗面台に届かないので、以前使っていたいすの上に乗って顔を洗っていますが、高さがあつておらず危険です。また、いすが壊れそうです。</p> <p>＜社会とのつながり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が安全に使用できる。【安全性の追求】 ・ 幼児が持ち運びしやすい。【利便性の追求】 ・ 幼児が乗りやすい。【機能性の追求】 <p>＜課題の設定＞ 安全に使えるふみ台を製作して、顔を洗えるようにしよう。</p> <p>＜振り返りの視点＞（評価・改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に使えるふみ台となったか。 ・ 持ち運びやすい作りになっているか。 ・ 乗りやすいか。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「学習過程の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、説明している。 ○ 社会での問題解決の流れの例を、技術分野の問題解決の流れと併記して示している。 ○ 各内容とも「未来のTechnology」、「学習のまとめ」の項目で学習を振り返り、学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。 ○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容A～Dとは別に「統合的な問題解決をしよう！」を設け、統合的な問題解決の学習について例示している。 ○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習を終えて」を掲載し、技術の学習を振り返るとともに、巻末に「SDGsとTechnology」を掲載し、持続可能な社会の構築と技術の関係について確認できるようにしている。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容とも「やってみよう」、「編のまとめ」の項目で学習を振り返り、これからの技術について考える内容を設けている。 ○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容A～Dとは別にE編「夢をかなえる技術」を設け、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、各要素について4コマ漫画を使って説明するとともに、学習の流れのイメージ図を掲載している。 ○ 社会での問題解決の例を、学習の流れのイメージ図と同じ形式で示している。 ○ 各内容とも「学習を振り返ろう」の項目で学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。 ○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容「D情報の技術」の中に、内容「B生物育成の技術」との統合実習例を掲載し、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。 ○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習をふり振り返り、私たちの未来へつながよう」を掲載し、技術の学習を振り返るとともに、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に技術に関わる態度や、技術を工夫し創造する態度について確認できるようにしている。

(3) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑤「題材や資料等の配列・分量」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 306 ページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 80 ページ ・ 「技術による問題解決」に関する分量 137 ページ ・ 「社会の発展と技術」に関する分量 30 ページ ○ 「知的財産の活用・創造」を掲載し、技術と知的財産について具体例を示している。 ○ 広島に関連する写真を1点扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【写真】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創造アイデアロボットコンテスト広島県代表 ○ サイズ AB判 重さ 約610g
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 352 ページ（うち技術ハンドブック 42 ページ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 100 ページ ・ 「技術による問題解決」に関する分量 164 ページ（うち技術ハンドブック 38 ページ） ・ 「社会の発展と技術」に関する分量 16 ページ ○ 広島に関連する情報を1点扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【情報】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末資料「博物館に行ってみよう！」で名称を紹介している「広島平和記念資料館」と「広島大学総合博物館」 ○ (本紙) サイズ A4変型(204×264mm) 重さ 約625g (別冊) サイズ A4変型(193×264mm) 重さ 約110g
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 302 ページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 118 ページ ・ 「技術による問題解決」に関する分量 114 ページ ・ 「社会の発展と技術」に関する分量 16 ページ ○ 各内容の終わりにコラムを掲載し、技術と知的財産や倫理について具体例を示している。 ○ 広島に関連する写真を2点、資料を1点扱っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【写真】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所(福山市)」の工場の様子 ・ 巻末資料「日本各地の伝統的な技・材料・工芸Map」の「宮島細工」 【資料】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所(福山市)」 ○ サイズ AB判 重さ 約570g

(4) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑥「実践的・体験的な学習に関する内容」

<p style="text-align: center;">東 京 書 籍</p>	<p>○ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (39)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (8)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモコンラック ・トランシュボックス ・飾り棚 ・プリント整理箱 ・ロッカー整理棚 ・プリンターカバー ・タブレットスタンド ・絵本ラック <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナス ・ジャガイモ ・ダイコン ・イネ ・ラッカセイ ・リーフレタス ・パンジー ・イチゴ <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯型扇風機 ・冷蔵庫開けっ放し報知器 ・自動点灯 LED ライト ・自動車の乗降装置 ・さくらんぼ収穫ロボット <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (12)】</p> <p>ネットワークを利用した双方向性のある コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紹介翻訳システム ・防災マップ ・クラス伝言板システム ・学校内チャットシステム ・施設確認システム ・中学校物知り博士 <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防システム ・育苗システム ・ロボット掃除機のモデル ・冷蔵庫開閉チェッカー ・福祉車両のモデル ・さくらんぼ自動収穫ロボット <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (6)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物防止システム ・地震時避難誘導システム ・自動車サポートシステム ・ドローン配送システム ・トラック物流システム ・自動かん水システム
<p style="text-align: center;">教 育 図 書</p>	<p>○ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (32)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (9)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議な本立て ・パンチングメタルスタンド ・調味料ホルダー ・便利なプリンターラック ・パーフェクトスマホスタンド ・リモコンスタンドつき本立て ・小物ボックス ・2列小物スタンド ・2段小物ラック <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (6)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーリーフ ・ミニダイコン ・ミニトマト ・コマツナの鉢栽培 ・キュウリのプランター栽培 ・低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (6)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンタンライト ・ぱくぱくカム ・ショベルカーのモデル ・災害時に役立つライト ・コロコロコースター ・ライトつきメガネスタンド <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (9)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追いかっこゲーム ・数当てゲーム <p>ネットワークを利用した双方向性のある コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAバザーの案内マップ ・簡単チャット ・簡単チャットのプログラミング ・双方向性の蓄積クイズ <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動点灯・消灯ライト ・自動かん水機 ・いろいろ問題解決 <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2足歩行ロボット ・バッテリーチャージャ

開 隆 堂 出 版	<p>○ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (29)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (7)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・安全性を重視したふみ台 ・調理スペースが広がる調味料ラック ・見ばえよく植物を収納する鉢入れ ・機能性を重視したカレンダーつきメモホルダ ・分類して収納できる文房具の整理箱 <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甘みのあるミニトマトの栽培 ・リーフレタスの養液栽培 ・ラディッシュの容器栽培 ・チューリップの促成栽培 ・イネの容器栽培 ・乳牛の飼育 (「動物の飼育」の具体例) ・ドジョウの養殖 (「水産生物の栽培」の具体例) ・スギ人工林の育成 <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に光る防災用ライト ・介助用ロボットーコンテストを考えた設計ー ・持ち運べる LED ライトスタンド ・お手軽クリーナー ・音声増幅器 <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (8)】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>ネットワークを利用した双方向性のある コンテンツのプログラミングによる問題の解決 (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して使えるメッセージ交換アプリ ・ネット対戦型タイピング練習 ・防災地図アプリ ・ルート検索アプリ ・英単語の発音チェックアプリ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち入り禁止エリアを判断する金属回収ロボット ・自宅のセキュリティ対策ーモニタリングによる防犯ー ・自分の動きを計測するトレーニング補助装置 </div> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ植物工場 (生物育成との統合)ーコマツナの苗の育成ー <p>※ 内容「D情報の技術」の問題解決として位置づいている。</p>
-----------------------	---

3 意見

(1) 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、問題解決の具体例を示すとともに、「さまざまな課題解決の方法例」として、生徒が創意・工夫する視点のヒントを示している。
- 視点③の工夫として、問題解決の具体例の中の「問題の発見」に「社会とのつながり」を記載し、技術分野の学習と生活や社会がつながっていることを意識させることができるようにしている。
- 視点④の工夫として、技術分野の学習の3つの要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」について、「技術分野の学習の流れ」として示すとともに、4コマ漫画や学習の流れのイメージ図を使って説明している。
- 視点④の工夫として、内容A～Dの学習を終えた後で、技術分野で学習した内容と持続可能な社会の構築との関連について考える内容を掲載するとともに、「主体的に技術にかかわる態度」や「技術を工夫し創造する態度」を持ち続けることの重要性について確認できるようにしている。
- 視点⑤の工夫として、知的財産を保護・活用することに加えて、創造することの重要性について示すとともに、掲載しているコラムの中で、技術に携わる者の倫理観についても詳細

に触れている。

- 視点⑥の工夫として、実践的・体験的な問題解決学習の具体例の名称について、「安全性を重視した」や「調理スペースが広がる」など、何を目的としたものかがわかるようになっている。

以上のとおり、開隆堂出版の教科書は、1(1)に記した、本市の生徒の「世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習への関心は高いが、年々、ものづくり体験は少なくなり、また、生活体験は個人差が大きくなっている」、「技術と生活や社会、環境との関係について理解し、知的財産を尊重しながら創意・工夫する力に課題がある」、「技術と生活や社会、環境との関係について理解し、問題解決学習を行う力に課題がある」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、技術・家庭科 技術分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、問題解決の具体例を示すとともに、「私の工夫」として、生徒が創意・工夫する視点のヒントを示している。
- 視点④の工夫として、技術分野の学習の3つの要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」について、「技術分野の学習の流れ」として示し、説明している。
- 視点④の工夫として、内容A～Dの学習を終えた後で、技術分野で学習した内容と持続可能な社会の構築との関連について考える内容を掲載している。
- 視点⑤の工夫として、知的財産を保護・活用することに加えて、創造することの重要性について示している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の生徒の「世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習への関心は高いが、年々、ものづくり体験は少なくなり、また、生活体験は個人差が大きくなっている」、「技術と生活や社会、環境との関係について理解し、知的財産を尊重しながら創意・工夫する力に課題がある」、「技術と生活や社会、環境との関係について理解し、問題解決学習を行う力に課題がある」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、技術・家庭科 技術分野で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科 [技術・家庭] 種目 [家庭分野]

14 教科 [技術・家庭] 種目 [家庭分野]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書（教科 [技術・家庭] 種目 [家庭分野]）」（以下、「報告書」という。）並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者（3者）の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
- 自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域でもあること
 - 実生活の中にある問題をあまり感じておらず、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、学校で学んだ知識や技能を家庭生活に積極的に生かすことができていないという課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点②「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点④「題材や資料等の配列・分量」
 - 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑤「実践的・体験的な学習を実施するための資料」
 - 観点4「内容の表現・表記」、視点⑧「『持続可能な開発目標』を意識させるための表記」

2 各発行者の特徴（抜粋）

- (1) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点②「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように、「問題を解決する筋道—家庭分野の学習の進め方—」を示している。 ○ 各編の最初に、「小学校家庭科での学習」と「この編で学ぶこと」を学習の流れに沿って示している。 ○ 編末の「学習のまとめ」に「3 生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを実生活に生かせるようにしている。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として、「問題を解決する筋道」と関連させている。また、課題の決め方、まとめ方の例を示している。 <p>【「生活の課題と実践」の例：12例】</p> <p>【まとめ方の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ポスター ・新聞形式 ・コンピュータ <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭分野の学習を終えて」に、今後の生活や学習につなげるための振り返りを掲載している。
------	---

<p>教 育 図 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」において、学習の進め方がイメージできるように、「課題解決学習の流れ」を用いて示している。 ○ 各内容の最初に、「自立度チェック」を設け、今の自分を振り返ることができるようにしている。 ○ 章末に「学びを生かそう」を設け、「課題設定のヒント」や「私の課題の例」として、課題の設定例と取り組み方の流れを示している。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、7例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践」の学習の流れを課題解決の流れと関連させている。 【「生活の課題と実践」の例：8例】 ○ 「家庭分野の学習をふり返ろう」に、各編についての振り返りを記述する欄を設けている。
<p>開 隆 堂 出 版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように「主体的・対話的で深い学びをしよう」を示している。 ○ 各内容の最初のページに、「学習前に、今のあなたの興味・関心を書きましょう。」と「学習を終えて、何に関心を持ちましたか。」の記述欄を設け、学習前と学習後の比較ができるようにしている。 ○ 章末に「ふり返り」や「生活にいかそう」を設け、学習した内容を振り返り、実生活に即した学習ができる問いを設けている。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として学習の流れを示している。また、実践のまとめ方の例を示している。 【「生活の課題と実践」の課題例：12例】 【まとめ方の例】 ・レポート ・ワークシート ・新聞やポスター ・プレゼンテーションソフト ・ポートフォリオ ・作品 ○ 「学んだことを次に生かそう！」に、3年間の学びをこれからの自分に生かしていくための記述を掲載している。

(2) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点④「題材や資料等の配列・分量」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の配列は、ガイドンス → B食生活・衣生活・住生活 → C消費生活と環境 → A家族・地域 → 生活の課題と実践 の順で配列している。 ○ 「プロに聞く」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを16個掲載している。 ○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A家族・地域、B衣生活・住生活において扱っている。 ○ 巻末付録に「防災・減災手帳」と「子どもの視界体験眼鏡」を設けている。 ○ 広島に関する記載が5カ所ある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまそだちの写真 ・広島かきの写真 ・カキの土手鍋の写真 ・備後餅の写真 ・安芸郡熊野町の生徒の写真（幼児と触れ合おう） ○ サイズ AB判 重量 約605g
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の配列は、ガイドンス → A家族・地域 → B食生活・衣生活・住生活 → C消費生活と環境 → 生活の課題と実践 の順で配列している。 ○ 「センパイに聞こう！」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを10個掲載している。 ○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A家族・地域、B食生活・衣生活・住生活において扱っている。 ○ 巻末に「献立作成用のシール」を設けている。 ○ 広島に関する記載が3カ所ある。 <ul style="list-style-type: none"> ・かき料理の写真 ・竹原格子の写真 ・土砂災害の被害の写真 ○ サイズ A4変型 重量 約630g
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の配列は、ガイドンス → A家族・地域 → B食生活・衣生活・住生活 → C消費生活と環境 → 生活の課題と実践 の順で配列している。 ○ 「先輩からのエール」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを18個掲載している。 ○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A家族・地域、B衣生活・住生活において扱っている。 ○ 巻末の折り込みページに、防災・減災についてまとめた「災害から『いのちと生活』を守るために」を設けている。 ○ 広島に関する記載が4カ所ある。 <ul style="list-style-type: none"> ・広島菜の文字 ・広島菜の写真 ・牡蠣の土手鍋の写真 ・宮島細工（しゃもじ）の写真 ○ サイズ AB判 重量 約567g

(3) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑤「実践的・体験的な学習を実施するための資料」

東京書籍	<p>○ 野菜・いもの調理、肉の調理、魚の調理の順に、実習例を45例と、幼児のおやつ7例を示している。</p> <p>〈蒸し料理の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶた肉と野菜の重ね蒸し ・蒸しどりのごまだれ ・蒸し野菜のサラダ ・野菜の蒸しパン（蒸し器） <p>〈だしを使った和食の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具だくさんみそ汁 ・野菜の焼き浸し ・キャベツと油揚げのみそ汁 ・かきたま汁 ・いりどり（がめ煮、筑前煮） <p>○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。</p> <p>○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。</p> <p>○ 布を用いた製作について、実習例を16例と衣服のリフォーム例を5例示している。</p> <p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。</p>
教育図書	<p>○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理の順に、実習例を44例と、幼児のおやつ5例、災害時の調理例を示している。</p> <p>〈蒸し料理の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュウマイ（蒸し器） ・魚のホイル蒸し ・蒸し野菜サラダ ・蒸しパン（蒸し器） <p>〈だしを使った和食の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃが ・筑前煮（しいたけ） ・ひじきのいため煮 ・かきたま汁 ・卵焼き <p>○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。</p> <p>○ 調理実習例とともに、「私のアレンジ」や組み合わせ例を示している。</p> <p>○ 布を用いた製作について、実習例を7例示している。</p> <p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。</p>

開 隆 堂 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理、あと1品つくってみよう（副菜、汁物、電子レンジ調理）、おやつやデザートのように、実習例を43例示している。 〈蒸し料理の例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸し野菜のサラダ（蒸し器） ・米粉蒸しパン（蒸し器） ・プリン 〈だしを使った和食の例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・だいこんのみそ汁 ・えのきと油揚げのすまし汁 ・青菜の卵とじ ・筑前煮（しいたけ） ・大豆とひじきの煮もの ・かぼちゃの煮もの ・なめこのみそ汁 ・かきたま汁 ・とん汁 ○ 調理手順の中に「Q1」や「Q2」などを付し、それに対応した調理のポイントを「調理方法のQ&A」の形で示し、「なぜ～？」と考えさせるように示している。 ○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。 ○ 視覚的、科学的に捉え、実感を伴って学習できるように、栄養素を調べる実験を設けている。 ○ 布を用いた製作について、実習例を9例示している。 ○ 幼児との触れ合い体験の実習について、5事例示している。
-----------------------	--

(4) 観点4「内容の表現・表記」、視点⑧「『持続可能な開発目標』を意識させるための表記」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裏見返しに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに、「C編消費生活・環境」の「持続可能な消費生活を目指して」において、SDGsについての記載がある。 ○ 各編の最後に（5編を除く）、「持続可能な〇〇を目指して」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。
教育図書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「C編消費生活・環境」の最初のページに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに、持続可能な社会を目指すための取組について考える活動を設けている。
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンスでSDGsの17の目標のマークを示すとともに、「C消費生活と環境」の「世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造」において、SDGsについての記載がある。 ○ 各題材の最後に持続可能な社会をテーマとして、それぞれの学習内容と関わりが深いSDGsの目標を具体的に挙げ、話し合わせる活動を設け、これからの学習を深められるようにしている。

3 意見

(1) 開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、各内容の最初のページに「学習前に、今のあなたの興味・関心を書きましょう。」と「学習を終えて、何に関心を持ちましたか。」の記述欄を設け、学習前と学習後の比較ができるようにしている。
- 視点②の工夫として、巻末の「生活の課題と実践」で、学習の流れを示し、実践のまとめ方として、「レポート」、「ワークシート」、「新聞やポスター」、「プレゼンテーション

ソフト」、「ポートフォリオ」、「作品」を例として示している。

- 視点④の工夫として、巻末の折り込みページに、防災、減災についてまとめた「災害から『いのちと生活』を守るために」を8ページにわたり掲載している。
- 視点⑤の工夫として、調理手順の中に、「Q1」や「Q2」などを付し、それに対応した調理のポイントを「調理方法のQ&A」の形で示し、「なぜ〜?」と考えさせるようにしている。
- 視点⑤の工夫として、栄養素を調べる実験を設け、視覚的、科学的に捉え、実感を伴って学習できるようにしている。
- 視点⑧の工夫として、各題材の最後に持続可能な社会をテーマとして、それぞれの学習内容と関わりの深いSDGsの目標を具体的に取り上げ、話し合わせる活動を設け、これからの学習を深められるようにしている。

以上のとおり、開隆堂出版の教科書は、1(1)に記した、本市の「災害への知識と備えが必要な地域である」という実態や、生徒の「実生活の中にある問題をあまり感じておらず、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、学校で学んだ知識や技能を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、技術・家庭科 家庭分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、各編の最初に、「小学校家庭科での学習」と「この編で学ぶこと」を学習の流れに沿って示している。
- 視点②の工夫として、巻末の「生活の課題と実践」で、学習の流れを示し、実践のまとめ方として、「レポート」、「ポスター」などを例として示している。
- 視点④の工夫として、巻末付録に「防災・減災手帳」を設けている。
- 視点⑤の工夫として、調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。
- 視点⑧の工夫として、持続可能な社会の構築を目指して、「持続可能な〇〇を目指して」の章を設け、これからの学習を深められるようにしている。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「災害への知識と備えが必要な地域である」という実態や、生徒の「実生活の中にある問題をあまり感じておらず、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、学校で学んだ知識や技能を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、技術・家庭科 家庭分野で使用する教科書としてふさわしいと考える。

